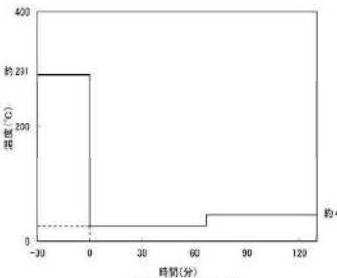
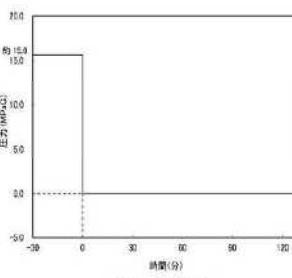


非公開情報の見直しに係る比較表

資料名称	非公開情報箇所
第6回分科会 資料4-2 P.6	PTS評価に使用する温度条件
見直し前	見直し後
<p>【事象概要】第5回分科会資料4より抜粋</p> <p>「大破断LOCA」のプラント挙動</p> <p>①1次系の大口径配管の破断に伴い定格運転圧力から瞬時に大気圧近傍へと低下するとともに、格納容器内圧の上昇により、充てん／高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、格納容器スプレイポンプ等が作動し、燃料取替用水タンクを水源とした炉心注水及び原子炉格納容器スプレイが開始される。</p> <p>②炉心注水により、継続的に冷却が行われる。</p> <p>③燃料取替用水タンクの保有水が減少し、再循環切替水位に到達後、格納容器再循環サンプル水槽とした再循環運転による冷却が継続される。</p> <p>図1 大破断LOCAのPTS状態遷移曲線とPTS事象シナリオの関係</p> <p>■内は商業機密事項であるため公開できません</p>	<p>【事象概要】第5回分科会資料4より抜粋</p> <p>「大破断LOCA」のプラント挙動</p> <p>①1次系の大口径配管の破断に伴い定格運転圧力から瞬時に大気圧近傍へと低下するとともに、格納容器内圧の上昇により、充てん／高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、格納容器スプレイポンプ等が作動し、燃料取替用水タンクを水源(27°C)とした炉心注水及び原子炉格納容器スプレイが開始される。</p> <p>②炉心注水により、継続的に冷却が行われる。</p> <p>③燃料取替用水タンクの保有水が減少し、再循環切替水位に到達後、格納容器再循環サンプル水槽(47°C)とした再循環運転による冷却が継続される。</p> <p>図1 大破断LOCAのPTS状態遷移曲線とPTS事象シナリオの関係</p> <p>■内は商業機密事項であるため公開できません</p>
見直し理由	プラント固有の条件に基づく破壊評価の結果を記載した機微情報に該当するため、非公開情報としていたが、メーカと協議し公開情報とする。

非公開情報の見直しに係る比較表

資料名称	非公開情報箇所
第6回分科会 資料4-2 P.9	PTS評価に使用する温度条件及び圧力条件
見直し前	見直し後
<p>第5回分科会実施前の後藤委員による質問（2022年9月3日） 9</p> <p>【解析の前提条件】</p> <p>大破断LOCAでは、原子炉容器の内外の温度差による熱応力が厳しくなるように、事故時の原子炉容器内の高温水が瞬時に冷却水の温度以下に置き換えられると仮想的に条件設定を行い、また、圧力については数十秒で大気圧相当となることから、下図に示すステップ状の変化を与えていた。</p> <p>なお、初期の温度と圧力は、定格運転時の温度 [] °C、圧力 [] MPaGに対し、誤差（温度 [] °C、圧力 [] MPaG）を考慮してPTS評価が厳しくなるように設定を行っている。</p> <p>（追5-1、追5-8、追5-9、追5-11回答）</p>   <p>大破断LOCA</p> <p>□ 内は商業機密事項であるため公開できません</p>	<p>第5回分科会実施前の後藤委員による質問（2022年9月3日） 9</p> <p>【解析の前提条件】</p> <p>大破断LOCAでは、原子炉容器の内外の温度差による熱応力が厳しくなるように、事故時の原子炉容器内の高温水が瞬時に冷却水の温度以下に置き換えられると仮想的に条件設定を行い、また、圧力については数十秒で大気圧相当となることから、下図に示すステップ状の変化を与えていた。</p> <p>なお、初期の温度と圧力は、定格運転時の温度 [] °C、圧力 [] MPaGに対し、誤差（温度 [] °C、圧力 [] MPaG）を考慮してPTS評価が厳しくなるように設定を行っている。</p> <p>（追5-1、追5-8、追5-9、追5-11回答）</p>  <p>図3 温度条件</p>  <p>図4 圧力条件</p> <p>大破断LOCA</p> <p>□ 内は商業機密事項であるため公開できません</p>
見直し理由	プラント固有の条件に基づく破壊評価の結果を記載した機微情報に該当するため、非公開情報としていたが、メーカと協議し公開情報とする。